

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
 今定例会では、18人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。
 なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

一般質問



令和元年9月4日 撮影

ここがききたい

庁舎敷地



細田 昌孝 議員

Q 駐車スペースとしてスロープなど解体を
A 全体的な見直しを検討する

議員 庁舎敷地で普段不足しがちな駐車スペースとして、スロープや花壇など解体を検討してみてもは。
財務部長 駐車場、イベントスペースの確保など、利便性向上を目指し全体的な見直しを検討する。

議員 高度経済成長期を中心に急速に整備されてきた水道施設の多くが、耐用年数を迎える老朽化している。今後の浄水場等、統廃合を踏まえて調査すべきと思うが。
上下水道部長 浄水場を含めた水

▼庁舎正面に設置されているスロープと花壇



道施設は、設置から長い年数が経過している。水の供給体制をどのようにすべきか研究する。
防災行政無線の音達調査を

議員 到達性が優れている280メガヘルツを活用してみても。
危機管理監 音達調査を実施し、今後研究する。

利用者の安心安全な対応策を
議員 彩湖・道満グリーンパークでは、行楽シーズン等、トイレ渋滞が発生する。トイレの増設はできないか。また、競技用自転車に対して注意喚起すべきと思うが。
環境経済部長 状況に応じて仮設トイレを設置する。また、走行マナー啓発の継続や速度抑制を国に要望する。

一般質問

一般質問

防災・減災対策

Q マイタイムライン(防災行動計画)の推進を
A 関係部局と連携し調査研究を図る

議員 西日本豪雨を受け5段階の大雨警戒レベルを発表。安全な間に避難することが大事。家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列で整理したマイタイムラインの推進を。
危機管理監 自助・共助意識の向上に役立つもので、関係部局と連携し調査研究を図る。

議員 避難所に行けない場合、近くの安全な場所(町会・自治会が指定した「緊急一時避難場所」)を住民は認知不足。周知徹底を。
危機管理監 水害避難訓練の実施に合わせ、「緊急一時避難場所」が記載されたパンフレットを配布し、さらなる周知・浸透を図る。

議員 要支援者対策として、災害時ケアプラン(個別支援計画)の策定推進を図るべき。特に福祉部



三浦 芳一 議員

門と防災部門の密な連携を。
危機管理監 関連部署と連携を密にし、個別計画を活用した総合防災訓練の実施を自主防災会に働きかけていく。

田辺三菱製薬の跡地問題は
議員 明年3月に撤退予定と言われている。跡地問題について、指導要綱で、マンションなど大規模な住宅開発を抑制できるのか。
都市整備部長 児童生徒の受け入れ可能状況を公表し、住宅開発の段階から事業者と協議することで、一定期間抑制できると考えている。



▲洪水を想定した水害避難訓練での高所避難の様子

市民サービス

Q 遺族への負担軽減に窓口のワンストップを
A 円滑な案内ができるよう努める

手塚 静枝 議員

議員 「死亡」に関する手続きを行う際の申請者の負担は大である。遺族への負担軽減には、窓口のワンストップ化が必要である。国も手続きを電子化し、ワンストップができないか検討を始めた。本市も、相談等を含め、各種手続きの窓口を一元化した取り組みを、早期に実施してはどうか。
総務部長 システム連携によりワンストップで対応できていると考える。国の動向を注視し、円滑な案内ができるように努めていく。

(子ども料金区分やファミリー・シルバー料金等) ③看板の設置など、心地よい環境整備はどうか。
環境経済部長 ①可能である。利用者へ周知を図る②現状、利用料を抑えて運営している。慎重に研究する③子どもたちが楽しく利用できる環境整備を検討する。

議員 遺族に寄り添う市民サービスの向上と、申請一覧の配布、容易なパンフレット作成を要望する。

その他の質問
Q 聖火リレーを盛り上げる施策、事前キャンプの誘致の進展は。
A 施策の検討、事前キャンプ地締結に向けて調整をしている。

道満金魚釣りの改善を

議員 ①釣れない子への持ち帰りはできないか②利用料の見直しを



▲大分県別府市の「おくやみコーナー」受付窓口